

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 エレマテック株式会社
 コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 櫻井 恵
 (氏名) 磯上 篤生
 配当支払開始予定日

TEL 03-3454-3526
 平成24年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	63,812	9.5	2,289	4.1	2,203	5.9	1,429	16.8
24年3月期第2四半期	58,259	7.4	2,197	1.3	2,080	10.0	1,224	△0.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,033百万円 (45.0%) 24年3月期第2四半期 713百万円 (8.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	69.82	—
24年3月期第2四半期	59.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	62,811	29,965	47.4	1,454.87
24年3月期	61,095	29,443	47.9	1,428.89

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 29,786百万円 24年3月期 29,254百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	12.6	4,450	9.0	4,300	5.4	2,750	11.7	134.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	21,152,473 株	24年3月期	21,152,473 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	679,011 株	24年3月期	679,011 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	20,473,462 株	24年3月期2Q	20,473,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成24年5月8日に発表した通期の連結業績予想を修正しております。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	10
海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金を背景にした自動車販売が景気を下支えし、緩やかに回復を続けました。しかし期半ば以降は、世界経済の減速により輸出が伸び悩み、景気回復のペースは鈍化しました。

エレクトロニクス業界におきましては、昨夏の地上デジタル放送移行に伴う駆け込み需要の反動により、販売不振となった薄型テレビをはじめとし、家電製品の販売は低調でした。パソコンの販売は、ウィンドウズ8投入前の個人の買い控えと法人の買い替え需要が台数ベースでは拮抗しつつも、販売単価の下落もあり金額ベースでは低調でした。また、半導体や電子部品等の生産は、セットメーカーの在庫調整の影響を受け低調でした。その一方、携帯電話はスマートフォンの販売が好調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、スマートフォン等携帯電話関連及びアミューズメント関連の部材に注力した販売活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比9.5%増の638億12百万円となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い売上総利益も増加したことから、営業利益は、前年同期比4.1%増の22億89百万円となりました。

経常利益は、営業利益が増加したことから、前年同期比5.9%増の22億3百万円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、経常利益が増加したことから、前年同期比11.9%増の21億14百万円に、四半期純利益は、前年同期比16.8%増の14億29百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、いずれも第2四半期の業績としては、過去最高を更新しました。

当社グループの報告セグメントを基にした、当第2四半期連結累計期間における地域別販売（セグメント間取引の相殺消去前）状況の概要は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比10.4%増の527億53百万円となりました。営業利益は、前年同期比8.6%増の14億5百万円となりました。

(中国)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比1.4%増の210億76百万円となりました。営業利益は、前年同期比18.9%減の5億41百万円となりました。

(その他アジア)

売上高は、「電気材料」及び「機構部品」の販売が増加したことから、前年同期比29.6%増の80億84百万円となりました。営業利益は、前年同期比400.2%増の2億5百万円となりました。

(欧米)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比6.5%増の11億47百万円となりました。営業利益は、前年同期比201.2%増の36百万円となりました。

また、当社グループの当第2四半期連結累計期間における商品区分別販売状況の概要は、以下のとおりであります。

(電気材料)

携帯電話及びアミューズメント用等のディスプレイ部品・材料の販売が増加した結果、売上高は前年同期比10.4%増の357億8百万円となりました。

(電子部品)

鉄道車両用等の電気部品の販売が減少した結果、売上高は前年同期比0.8%減の130億78百万円となりました。

(機構部品)

アミューズメント用等の機構部品の販売が増加した結果、売上高は前年同期比11.1%増の89億17百万円となりました。

(その他)

製造設備等の販売が増加した結果、売上高は前年同期比29.4%増の61億8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2.8%増の628億11百万円となりました。

流動資産は、「現金及び預金」が減少したものの、「受取手形及び売掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比3.0%増の573億34百万円となりました。

固定資産は、「投資有価証券」が減少したものの、「長期貸付金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比1.2%増の54億77百万円となりました。

流動負債は、「支払手形及び買掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比4.0%増の326億62百万円となりました。

固定負債は、「負ののれん」が減少したこと等により、前連結会計年度末比25.7%減の1億83百万円となりました。

純資産は、「利益剰余金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比1.8%増の299億65百万円となり、自己資本比率は、47.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末と比べ、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が23億82百万円減少し、103億52百万円となりました。

営業活動に使用されたキャッシュ・フローは、15億1百万円となりました。主な内訳としては、税金等調整前四半期純利益が21億14百万円、売上債権の増加による資金流出が47億92百万円、仕入債務の増加による資金獲得が17億79百万円、法人税等の支払による資金流出が7億14百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、1億36百万円となりました。主な内訳としては、長期貸付による資金流出が2億円、有形固定資産の取得による資金流出が91百万円、長期貸付金の回収による資金獲得が1億17百万円であります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、5億80百万円となりました。主な内訳としては、短期借入金の減少による資金流出が70百万円、配当金の支払による資金流出が5億10百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内の景気は、東日本大震災の復興需要が続くものの、エコカー補助金の終了、外需の弱さを背景に、力強さに欠けるものと予想されます。

国内のエレクトロニクス業界は、スマートフォン等情報機器端末の販売は期待が見込めるものの、その他については数量及び価格面で厳しい状況が続くものと考えられます。

海外においては、米国の景気回復に力強さが見られず、欧州は債務問題の膠着化による域内需要の低迷が見られます。このため多くの国で個人消費が伸び悩み、エレクトロニクス製品の販売は、弱含みで推移することが考えられます。一方新興国においては、一定の経済成長を通して、エレクトロニクス製品等の需要を下支えするものと思われれます。

このような状況の中、当社グループは、引き続きスマートフォン等携帯電話関連及びアミューズメント関連の部材に注力した販売活動に努めるとともに、成長が見込めるアジア地域での販売を強化し、収益機会を広げてまいります。

以上を踏まえ、2013年3月期通期の連結業績予想に関しましては、売上高を1,300億円と予想しております。利益面につきましては、営業利益44億50百万円、経常利益43億円、当期純利益27億50百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,764	10,367
受取手形及び売掛金	35,667	40,195
たな卸資産	5,286	5,450
未収消費税等	920	658
繰延税金資産	270	271
その他	956	586
貸倒引当金	△180	△196
流動資産合計	55,685	57,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,368	2,378
減価償却累計額	△1,552	△1,584
建物及び構築物（純額）	816	794
機械装置及び運搬具	723	741
減価償却累計額	△380	△398
機械装置及び運搬具（純額）	343	342
土地	1,663	1,663
その他	580	584
減価償却累計額	△442	△438
その他（純額）	138	145
有形固定資産合計	2,961	2,946
無形固定資産		
ソフトウェア	122	147
その他	58	51
無形固定資産合計	181	199
投資その他の資産		
投資有価証券	817	657
長期貸付金	5	204
繰延税金資産	109	131
保険積立金	403	452
投資不動産	411	406
その他	597	556
貸倒引当金	△77	△78
投資その他の資産合計	2,267	2,331
固定資産合計	5,410	5,477
資産合計	61,095	62,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,955	30,581
短期借入金	164	86
未払法人税等	716	692
賞与引当金	203	392
役員賞与引当金	—	33
その他	1,365	876
流動負債合計	31,405	32,662
固定負債		
繰延税金負債	0	0
退職給付引当金	68	70
負ののれん	63	—
その他	113	112
固定負債合計	247	183
負債合計	31,652	32,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	3,335	3,335
利益剰余金	26,002	26,919
自己株式	△694	△694
株主資本合計	30,785	31,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	△11
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△1,564	△1,905
その他の包括利益累計額合計	△1,531	△1,917
少数株主持分	188	178
純資産合計	29,443	29,965
負債純資産合計	61,095	62,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	58,259	63,812
売上原価	52,185	57,378
売上総利益	6,073	6,433
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,317	1,422
役員報酬	117	111
運賃及び荷造費	463	522
法定福利費	197	217
旅費及び交通費	241	254
減価償却費	87	84
賞与引当金繰入額	339	357
役員賞与引当金繰入額	30	33
退職給付費用	113	117
貸倒引当金繰入額	△26	14
その他	992	1,011
販売費及び一般管理費合計	3,875	4,144
営業利益	2,197	2,289
営業外収益		
受取利息	51	10
受取配当金	6	6
負ののれん償却額	72	63
賃貸収入	52	48
その他	27	13
営業外収益合計	209	142
営業外費用		
支払利息	30	0
持分法による投資損失	19	27
賃貸費用	10	12
為替差損	262	167
その他	4	20
営業外費用合計	326	228
経常利益	2,080	2,203
特別損失		
投資有価証券評価損	33	77
事業損失引当金繰入額	107	—
出資金売却損	46	11
子会社清算損	3	1
特別損失合計	191	89
税金等調整前四半期純利益	1,889	2,114
法人税等	662	698
少数株主損益調整前四半期純利益	1,226	1,415
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2	△13
四半期純利益	1,224	1,429

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,226	1,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△44
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△519	△341
持分法適用会社に対する持分相当額	2	4
その他の包括利益合計	△513	△381
四半期包括利益	713	1,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	707	1,043
少数株主に係る四半期包括利益	5	△9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,889	2,114
減価償却費	121	119
投資有価証券評価損益(△は益)	33	77
子会社清算損益(△は益)	3	1
負ののれん償却額	△72	△63
出資金売却損	46	11
持分法による投資損益(△は益)	19	27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△43	14
受取利息及び受取配当金	△57	△17
事業損失引当金の増減額(△は減少)	107	—
売上債権の増減額(△は増加)	△5,025	△4,792
たな卸資産の増減額(△は増加)	△136	△210
仕入債務の増減額(△は減少)	3,342	1,779
未収消費税等の増減額(△は増加)	359	262
その他	144	△126
小計	731	△804
利息及び配当金の受取額	73	17
利息の支払額	△31	△0
法人税等の支払額	△678	△714
営業活動によるキャッシュ・フロー	94	△1,501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△152	△91
出資金の回収による収入	—	57
投資有価証券の売却及び償還による収入	628	—
長期貸付けによる支出	—	△200
長期貸付金の回収による収入	—	117
その他	△20	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	455	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	76	△70
配当金の支払額	△509	△510
その他	△15	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△448	△580
現金及び現金同等物に係る換算差額	△382	△163
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△280	△2,382
現金及び現金同等物の期首残高	8,977	12,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,696	10,352

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	34,873	17,119	5,387	878	58,259	—	58,259
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,931	3,670	847	198	17,647	(17,647)	—
計	47,804	20,789	6,235	1,076	75,906	(17,647)	58,259
セグメント利益	1,294	667	41	12	2,015	182	2,197

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

(1) 中国……………中国(香港を含む)

(2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア

(3) 欧米……………USA、チェコ、ポーランド

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	40,400	15,746	6,600	1,065	63,812	—	63,812
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,353	5,330	1,483	82	19,249	(19,249)	—
計	52,753	21,076	8,084	1,147	83,062	(19,249)	63,812
セグメント利益	1,405	541	205	36	2,189	99	2,289

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

(1) 中国……………中国(香港を含む)

(2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア

(3) 欧米……………USA、チェコ

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高（百万円）	19,551	5,127	925	25,604
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	58,259
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	33.6	8.8	1.6	44.0

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

- ① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。
- ② 各区分に属する主な国または地域……中国（香港を含む）、その他アジア：台湾、韓国、東南アジア

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高（百万円）	17,905	8,299	1,002	27,206
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	63,812
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	28.1	13.0	1.6	42.6

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

- ① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。
- ② 各区分に属する主な国または地域……中国（香港を含む）
その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア